

---

# 第 80 回数理社会学会大会 (JAMS80) プログラム

日時：2026 年 3 月 7 日 (土) ～3 月 8 日 (日)

会場：日本大学 文理学部キャンパス

大会委員長：濱本 真一 (日本大学)

開催校：日本大学

---

## 1 参加費

一般 (会員)	4,000 円	学生・院生 (会員)	1,000 円
一般 (非会員)	7,000 円	学生・院生 (非会員)	3,000 円
当日券 (共通)	7,000 円		

## 2 懇親会費

一般 (会員・非会員)	6,000 円	学生・院生 (会員・非会員)	4,000 円
-------------	---------	----------------	---------

## 3 主なスケジュール

時間			
3 月 6 日	13:00～15:00	編集委員会	研究活動委員会
	15:00～17:00	ワンステップアップ・セミナー	
	17:00～19:00	理事会	
3 月 7 日	9:00～11:05	自由報告I (第 1 部会)	自由報告II (第 2 部会)
	11:15～12:55	萌芽的セッションI	
	12:55～13:45	昼食休憩	
	13:45～15:25	萌芽的セッションII	
	15:25～17:30	自由報告III (第 3 部会)	自由報告IV (第 4 部会)
	17:30～18:30	総会	
	18:40～20:40	懇親会	
3 月 8 日	9:00～11:05	自由報告V (第 5 部会)	萌芽的セッションIII
	11:15～12:55	萌芽的セッションIV	
	12:55～13:55	昼食休憩	
	13:55～16:00	シンポジウム	

## 4 会場

- ・ 受付：3 号館 4 階 エントランス
- ・ 主な会場：3 号館 4 階 3405 教室 3404 教室
- ・ 会員控室・抜き刷り交換コーナー：3 号館 4 階 3410 教室
- ・ 懇親会：3 号館 1 階 食堂

## 5 口頭報告者へのお願い（自由報告）

- ・ 部会開始 5 分前に集合して、司会者と打ち合わせをしてください。報告 15 分，討論 10 分です。
- ・ 会場設置パソコンを利用できます（Windows11，Office365）。持参パソコンの場合，HDMI 端子接続の Windows ノートパソコンが使用可能です。いずれの場合も持参の機器は，開場前に必ず接続テストをお願いします。
- ・ ファイルは当日持参してください（USB メモリ利用可）。
- ・ 配布資料は，報告直前に配布してください。残部は持ち帰るか，抜き刷りコーナーに置いてください。
- ・ （司会者の方々へ）部会開始 5 分前に集合ください。報告 12 分で 1 鈴，15 分 2 鈴，25 分 3 鈴を鳴らします。

## 6 ポスター報告者へのお願い（萌芽的セッション報告）

- ・ 1 日目の萌芽的セッションIで報告される方はポスターを来場後なるべく速やかに貼りつけていただき，セッション終了後に速やかに取り外してください。セッション後 15 分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します。
- ・ 1 日目の萌芽的セッションIIで報告される方はポスターを昼食休憩中（12:55～13:45）になるべく速やかに貼りつけていただき，セッション終了後に速やかに取り外してください。セッション後 5 分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します。
- ・ 2 日目の萌芽的セッションIIIで報告される方はポスターを来場後なるべく速やかに貼りつけていただき，セッション終了後に速やかに取り外してください。セッション後 15 分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します。
- ・ 2 日目の萌芽的セッションIVで報告される方はポスターを小休憩中（11:05～11:15）に貼りつけていただき，セッション終了後に取り外してください。セッション後 15 分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します。
- ・ 最大で A0（縦 1189×横 841mm）のスペースが利用可能。報告ごとにポスター位置が指定されています。
- ・ ポスターの貼りつけには画鋏あるいはセロハンテープ（いずれも開催校が用意）が使用可能です。
- ・ 部会開始 5 分前に集合してください。

## 7 問い合わせ先

研究事務局 〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155

関西学院大学 社会学部社会学科 長松奈美江

E-mail: jams.research[at]gmail.com

nagamatsu[at]kwansei.ac.jp

大会開催校 〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40（文理学部キャンパス）

日本大学 文理学部社会学科 濱本真一

3月6日（金）

13:00～15:00	編集委員会	3号館	3402 教室
13:00～15:00	研究活動委員会	3号館	3401 教室
15:00～17:00	ワンステップアップ・セミナー	3号館	3404 教室
17:00～19:00	理事会	3号館	3402 教室

3月7日（土）

08:30 開場

08:45 開会挨拶 大会委員長 濱本真一

3号館 3405 教室

09:00～11:05 自由報告I・自由報告II

【第1部会】 数理

3号館 3405 教室

司会 XXXX (XXXX)

1	NIMBY 施設設置の一次元モデル ——社会厚生と立地容易性の複合効果	○石田淳（関西学院大学）・ 前田豊（信州大学）
2	学習タイプの異質性が慣習の形成に与える影響	堀田悠生 （東京国際大学経済学部）
3	社会的ジレンマにおける内集団ひいきに関する実験研究 ——国籍に基づく集団と上位アイデンティティに着目した分析——	○門間晴風（東北大学大学院）・ 水野景子（東北大学）
4	解釈主義的合理性に基づく命題的態度の公理的構成	清水裕士（関西学院大学）
5	エスノメソドロジとオートエスノグラフィの数論	落合仁司

【第2部会】 教育格差

3号館 3404 教室

司会 XXXX (XXXX)

1	Diverging Influence of Fathers and Mothers: Intergenerational Educational Mobility in 20th-Century Japan	○麦山亮太（学習院大学）・ 石橋挙（社会データ構造化 センター／統計数理研究所）
2	教育格差における親の教育アスピレーションの重要性： Gap-Closing Approach による再検討	太田裕一郎（大阪大学大学院／ 日本学術振興会）
3	親と拡大家族の学歴と子の教育達成の関連の時代的变化	石橋挙（社会データ構造化 センター／統計数理研究所）
4	大学進学移動の空間的制約と地元進学の構造変化	濱本真一（日本大学）
5	教育の階層差の横断モデルと縦断モデル：進路希望に対する 出身階層と学力の効果・その時間的プロセス	遠藤優太（京都大学大学院）

\*\*\*\*休憩（10分）\*\*\*\*

11:15～12:55 萌芽的セッションI

【萌芽的セッションI】

3号館 3401教室・3402教室

1	E When digital advantage accumulates: Socioeconomic inequality at the top of the digital skill distribution across countries	謝伊琳 (東京大学大学院)
2	モンゴル国におけるソーシャル・メディア利用とその要因	湊邦生 (高知大学)
3	居住マンションをグループ変数とした商店街利用行動と満足度のマルチレベル分析	○塚常健太 (岡山理科大学) ・ 太田晃樹 (岡山理科大学) ・ 天納隆希 (岡山理科大学) ・ 横山大輝 (岡山理科大学) ・ 横山ひとみ (岡山理科大学)
4	地域メッシュと緯度経度座標による世帯の正確率標本抽出	○渡辺健太郎 (東北学院大学) ・ 前田忠彦 (データサイエンス共同 利用基盤施設)
5	災害廃棄物仮置場の受容	○前田豊 (信州大学) ・石田淳 (関西学院大学) ・金太宇 (桃山 学院大学)
6	ネットワーク上での文化進化における併用可能性の役割	古川真守 (東京科学大学大学院)
7	アジア太平洋戦争中の子どもたちの感情 —日記のテキストマイニングで捉える戦時中の日常—	○妹尾唯可 (関西学院大学) ・ 渡邊勉 (関西学院大学)
8	未婚者は同棲をどのようなものと捉えているのか —二次データ分析による探索的検討—	小河映育花 (お茶の水女子大学大学院)
9	職業評価における地位と適性収入の関係 ——ヴィネット実験による分析	池田岳大 (立教大学)
10	日本の全上場企業の役員ネットワークの記述統計とその変化 (2008–2024 年度)	藤山英樹 (獨協大学)
11	大学地域配置の偏在性の変遷： 居住人口と大学立地の関係に着目して	寺田悠希 (高知大学学び創造センター)
12	教職再生産における分岐要因の探索的検討	三輪卓見 (東京大学大学院)
13	大学教育の費用負担問題に関する社会的ジレンマ・モデルの構築	森坂太一 (東北大学大学院／ 日本学術振興会)
14	生成 AI を用いた半構造化インタビューによる生き方に関する調査	○川端健嗣 (東京大学) ・ 瀧川裕貴 (東京大学)

15	学術会議問題を事例とした、文系・理系対立の実証分析 —市民の文理観と科学者の文理別態度—	○宮部裕貴（東京大学）・久保田 唯史（京都大学）・楊鯤昊（芝浦 工業大学）・鳥海不二夫（東京大 学）・田中幹人（早稲田大学）
16	『聞き書きマップ』を用いた「対話」の記録と分析の試み	原田豊（立正大学）
17	子どもの学習行動に影響する要因は夏休みとふだんで 異なるか	胡中孟徳（東京大学）
18	階層間での対話不信の構造	大崎裕子（日本社会事業大学）
19	Dyna-Q による状態依存的課税政策の学習	大浦宏邦（帝京大学）

\*\*\*\*昼食休憩（50 分）\*\*\*\*

13:45～15:25 萌芽的セッションII

【萌芽的セッションII】

3 号館 3401 教室・3402 教室

1	社会的脆弱性の予期的指標	三隅一人（九州大学）
2	☐ From Fireman to Firefighter: Semantic Convergence under Gender-Fair Language Norms in Occupational Titles	○Hanhan Sun（東北大学大学院）・ Zeyu Lyu（東北大学）
3	幸福度と収入の関連にかんする検討： 尺度の違いに着目して	石橋拳（社会データ構造化 センター／統計数理研究所）
4	ふたり親からひとり親世帯への移行がペアレンティングに 与える影響：固定効果モデルを用いたパネルデータ分析	建部知則（学習院大学大学院）
5	キャリア初期の世代間下降移動によるディストレスの経年 蓄積——サービス階級との境界	鳥居勇氣（立教大学大学院）
6	☐ Encoding Gender in Narrative Tropes	○WANG ZHICHAO (Tohoku University)・LYU ZEYU (Tohoku University)
7	公立小学校の学級内クラス形成の社会シミュレーション に向けた LLM エージェントのモデリング	○渡壁晃（京都大学大学院）・ 宮澤和貴（大阪大学大学院）
8	初等教育期の課外活動パターンがその後の教育成果に 与える影響	○小西凌（三重大学）・鈴木健一郎 （名古屋大学大学院）

9	社会的報酬と同調圧力の影響を考慮したいじめの数理モデル	○阿藤寛奈（同志社大学大学院）・阿部真人（同志社大学）
10	生成 AI による生成ライフヒストリーを用いたコンジョイント実験	○瀧川裕貴（東京大学）・石橋挙（社会データ構造化センター／統計数理研究所）・川端健嗣（東京大学）・保田幸子（桃山学院大学）・齋藤崇治（名古屋商科大学）・呂沢宇（東北大学）
11	排外意識研究における因果と測定——二つの全国調査の比較から	田野裕雅（東北大学文学部）
12	スティグマが付与された地域に対する差別：福島県産食品の購入に関するコンジョイント実験を用いた検証	○山元玲夏（学習院大学）・麦山亮太（学習院大学）
13	新卒採用で学生生活のエピソードはどのように評価されるのか	山口ゆり乃（東京大学大学院）
14	韓国における家族内資源配分：成人子のジェンダーに着目して	韓仁熙（東京大学大学院）
15	仕事満足度の 10 年の軌跡	吉岡洋介（千葉大学）
16	信念ネットワークの分析	小川和孝（東北大学）
17	近隣による教育達成の格差：大学へのアクセシビリティに着目した因果分解分析	藤原翔（東京大学）
18	プロ・スポーツの応援歌の歌詞分析：トピックモデルを用いて	木村宏人（敬愛大学）
19	私立中学進学の効果の構造——因果媒介分析による検討	森いづみ（中央大学）

15:25～17:30 自由報告Ⅲ・自由報告Ⅳ


【第3部会】 教育・不平等

3号館 3405教室

司会 XXXX (XXXX)

1	Social Costs of Wage Negotiation across Job Levels	○森川ゆり子（東京大学）・ 瀧川裕貴（東京大学）
2	Understanding the Disparities in Exposure to Green Spaces and Air Pollution Using Mobility Data and Remote Sensing	山口侑平 （東北大学大学院）
3	日本における移民の子どもの学力の実態把握 —全国学力・学習状況調査の分析を通じて—	中原慧（同志社大学）
4	教育格差についての異なるフレーミングが教育政策への選好 に与える影響についての研究 —教育格差の生成メカニズムについてのフレームを用いた分析—	○森坂太一（東北大学 大学院／日本学術振興会）・ 小川和孝（東北大学）
5	マルクス主義階級論の復権	斉藤友介 （早稲田大学大学院）

司会 XXXX (XXXX)

1	 Not Just Covered: Health Insurance Generosity and Functional Limitation Trajectories in Aging China	○楊葉(慶應義塾大学大学院)・ 百瀬由璃絵(日本女子大学)・ Sin Yi Cheung (Cardiff University)・竹ノ下弘久 (慶應義塾大学)
2	AI に対する態度・行動の規定要因と生活満足度への影響： コミックマーケット 50 周年調査の分析から	○毛塚和宏(九州大学)・ 杉山あかし(九州大学)・ 小林信重(東北学院大学)・ 杉山怜美(明星大学)・ 玉川博章(武蔵野美術大学)
3	省力回答者に対してロバストな平均値とその差の推定 —回答選択肢のランダムイズ—	○齋藤僚介(大阪大学)・ 渡辺健太郎(東北学院大学)
4	なぜ世代間で健康状態は継承されるのか？ —世代間健康関連メカニズムの解明に向けて—	○北村友宏(国立社会保障・ 人口問題研究所／慶應義塾大 学大学院)・塚田祐介 (青山学院大学)・竹ノ下弘久 (慶應義塾大学)
5	SNS 利用による孤独感への条件つき平均因果効果—機械学習手 法を利用した meta-learner を二次データに適用した探索的分析—	○丹亮人・木田千裕・ 町田親紀・大鐘智香子・ 片山愛・千羽敏史(MRI Research Associates, Inc.)

17:30～18:30 総会

3号館 3405 教室

18:40～20:40 懇親会

3号館 1階 食堂



3月8日(日)

08:45 開場

09:00～11:05 自由報告V・萌芽的セッションIII

【第5部会】 政治・情報・文化

3号館 3405 教室

司会 XXXX (XXXX)

1	第27回参議院選挙と第50回衆議院選挙の結果を比較する —得票率変動の定量的分析に基づき今後の政治動向を探る—	嶋田一郎 (東北大学)
2	誤情報修正は参政党投票と関連するのか —実験パネル調査を用いた検証—	○五十嵐彰 (大阪大学) ・ 小椋郁馬 (一橋大学) ・ 西耕平 (神戸大学)
3	共同募金における返礼品代替の意思決定支援モデル—エージェント ベースシミュレーションによる社会的便益と収益性の評価—	大橋裕太郎 (芝浦工業大学)
4	社会学研究にアートベース・リサーチを導入する —社会学と芸術実践の統合はいかに可能か—	○金光淳 (京都産業大学) ・ イン ビンビン (京都産業 大学)
5	「ショパン国際ピアノコンクール」における評価の構造 —初期ステージでファイナル進出者は予測可能か?—	辻竜平 (近畿大学)

【萌芽的セッションIII】

3号館 3401 教室・3402 教室

1	日本の雇用関係と潜在的所得構造	福井康貴 (名古屋大学)
2	戦後日本における世代間社会移動の要因分解	小野佑理 (関西学院大学)
3	Educational Disparities Among Endogenous Social Groups: A Data-Driven Approach	○川田恵介 (東京大学) ・ 藤原翔 (東京大学)
4	オンライン空間における「ヘイト消極層」の可視化 —YouTube コメントデータを用いた試み	小原理乃 (東京大学大学院)
5	職場における隠れたジェンダー差別? 因果媒介実験を用いた昇進評価バイアスの検証	○吉田航 (国立社会保障・人口 問題研究所) ・尾藤央延 (東京都立 大学)
6	誰が誰と婚外恋愛をするのか: 既婚者クラブユーザーデータを用いた分析	○岡田玖美子 (奈良女子大学) ・ 五十嵐彰 (大阪大学)
7	子ども期の剥奪経験が将来に及ぼす影響の検討	後藤香織 (東京大学大学院)

8	中国における女性の出生意欲の推移 —CGSS による実証分析—	○原媛（同志社大学大学院）・ ○劉宇婷（同志社大学大学院）
9	若者を「闇バイト」から遠ざけるには —非合法労働抑止に関する実証研究—	○橋村奏穂（立教大学）・ 三輪哲（立教大学）
10	集団間ゴシップはいかに協力行動に影響するか ——場面想定実験による検討	○王偉宇（関西学院大学大学院）・ 清水裕士（関西学院大学）
11	エージェントの視野が社会情動の創発に与える影響の シミュレーション	坂本孝丈（静岡大学）
12	文化的嗜好は労働市場でリターンをもたらすのか？ 逆因果性を考慮したパネルデータ分析	濱田樹（大阪大学大学院）
13	自営業層出身者の教育達成に関する研究 ——世代間継承に着目した分析——	西尾知耀（東北大学大学院）
14	Inequality in Everyday Environmental Experiences: Integrating Mobility Traces, Street-View Imagery, and Ecological Momentary Assessment	○呂沢宇（東北大学）・瀧川裕貴 （東京大学）・西山勇毅（東京 大学）・埴淵知哉（京都大学）・ 山口侑平（東北大学）
15	不完全な「革命」と世帯間所得格差の変動	鈴木健一郎（名古屋大学）
16	社会経済的地位と経済的意思決定の文脈依存性： 社会的評価と報酬規模に対する適応戦略	辻翔瑛（県立広島大学）
17	固定報酬が及ぼす労働意欲への影響 —オンライン実験による検証の試み—	内藤晃史（東北大学大学院）
18	「嘘」から真実を見抜くことはできるのか： ゴシップの送り手の評判を手がかりとしたベイズ更新モデル	岩村麟太郎（同志社大学社会学部）

\*\*\*\*休憩（10 分）\*\*\*\*

11:15～12:55 萌芽的セッションIV

【萌芽的セッションIV】

3号館 3401教室・3402教室

1	Distributional Patterns of Social Capital	Nobuo Suzuki (Iwate Prefectural University)
2	Trends in Political Attitude among Viewers of Ko Wen-Je's YouTube Channel: Analysis with the NLP model SBERT	○CHU YUNG E (Kyushu University) ・ Kazuhiro KEZUKA (Kyushu University)
3	地方自治体における公園利用に対する禁止傾向と地域社会要因：自治会と小学校・PTAに着目して	○堂免隆浩（一橋大学） ・ 大崎裕子（日本社会事業大学）
4	高齢期における就業は孤独感を抑制するか：固定効果モデルによる検証	○服部倖季（学習院大学） ・ 麦山亮太（学習院大学）
5	大都市における高校間トラッキングの内実	小宮拓人（東京大学大学院）
6	柔軟な働き方と働く母親による保育所属性の評価——コンジョイント実験による分析	劉思良（大阪大学大学院）
7	子どもの出生とメンタルヘルスの関連——東大社研パネルデータによる検証	斉藤裕哉（東京大学）
8	趣味の定量化とコミュニティ規範：アニメファンダムにおける選好・社会関係・行動の統合的分析	YAN DONGXIN（東北大学大学院）・呂沢宇（東北大学）
9	日本における文化活動評価の分類枠組みの推定	○村上真都（同志社大学大学院）・河瀬彰宏（同志社大学文化情報学部）
10	生成AIとの「個人的対話」がもたらす心理的変容の解明	塩谷芳也（京都産業大学）
11	感情規則の男女差とその変容？	太郎丸博（京都大学）
12	誰が教員希望をもたなくなるのか：職業志向性に着目した検討	山口哲司（東京大学大学院）
13	選択機会の付与と自由の行使の効果	内藤準（成蹊大学）
14	罰による協力の成立可能性——リーダーによる罰のインセンティブ構造の検討——	○小野さくら（北海道大学） ・ 高橋伸幸（北海道大学）
15	「ショパン国際ピアノコンクール」における評価の構造——評価次元の意味同定の試み——	辻竜平（近畿大学）
16	相対的剥奪モデルの含意に関する一考察	大森寛史（東北大学大学院）

17	どのような親が子育てのために移動するか？ —人口移動調査を用いた探索的分析—	北村友宏（国立社会保障・人口 問題研究所／慶應義塾大学 大学院）
18	投資家行動と平均場ゲーム	井原悠至（同志社大学）

\*\*\*\*昼食休憩（60分）\*\*\*\*

13:55～16:00 シンポジウム

数理社会学会 40 周年・数理社会学事典刊行記念シンポジウム 3 号館 3405 教室

司会 XXXX（XXXX）

1	これからの数理社会学史研究に向けて	小田中悠（京都先端科学大学）
2	社会階層研究からみる計量社会学の現在	麦山亮太（学習院大学）
3	「はみだす」数理社会学会 —数理・計量社会学研究の今後の一つの可能性—	毛塚和宏（九州大学）
	コメンテーター	今田高俊 （東京工業大学名誉教授）
	コメンテーター	佐藤嘉倫（京都先端科学大学／ 東北大学名誉教授）

16:00～16:10

閉会挨拶 大会委員長 濱本真一

3 号館 3405 教室

（備考）

- 印は登壇者を示します。[E] は英語による報告です。The [E] symbol stands for English presentations.
- 「抜き刷り交換コーナー」を設けます。論文、報告書、マニュアル、自作ソフトなどを置けます。事前に「交換用抜き刷り」と表記して大会事務局宛に送付できます。
- ワンステップアップ・セミナー参加（無料）には申し込みが必要です。詳細はセミナー案内をご覧ください。定員に余裕がある場合は当日参加受付もいたします。
- 大学敷地内は、全面禁煙となっております。ご理解ご協力を願いたします。